

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

1 開会

2 会長挨拶

省略

3 本日のスケジュールについて

《会長》

始めに、事務局より本日のスケジュールについて説明願います。

《事務局》

それでは、本日の日程等について説明いたします。

次第の1ページにありますタイムスケジュールにそって1教科ごとに入室していただき別冊1「小委員会調査報告書」に基づき各教科書の調査・研究結果の報告をいただきます。各教科の報告をすべて受けたのち、教科ごとに採択を行ってまいります。

別冊2には前回小学校用教科用図書を採択した議事録を掲載しております。

次第の2ページに現在使用している小学校用教科書一覧、3ページに中学校用教科書一覧を掲載しております。

4ページからは各市町村における教科書展示会の開催状況と、寄せられた意見を掲載しておりますので参考としながら進めていただきたいと考えております。

全教科の採択が終了しましたら、事務局より各市町村・教育委員会における採択手続、学校教育法附則第9条の規定に基づく採択手続、情報公開等について説明を行い全体の終了と考えております。

《会長》

説明に対して質問等はございませんか？

《委員》

質問なし。

《会長》

それでは各教科の報告者からの報告をしていきたいと思います。

4 調査・研究結果報告及び教科用図書採択

別紙のとおり

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《社会》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

(2) 質疑

○全出版社で北海道について扱っており、教育出版は特に北海道の米作りの具体的なことに触れている。現在使用している東京書籍も米作りについて触れているが、その箇所について、使いにくい等の話は出ていないか。

→教科書を全て見たわけではないが、実際に使っている先生や、調査委員に使用する教科書の出版社が変わったことについて感想を聞いたが、社会については特に違和感はないという感想が大半だった。

○調査報告書において、アイヌの人たちの記述をしているのは東京書籍のみ、北方領土に関する記述は日本文教出版のみだが、他の出版社にはその記述はなかったのか。

→アイヌに関する記述は全出版社ある。北方領土に関する記述もどの出版社も扱っているが、地球儀や地図を用いて具体的に記述しているのは日本文教出版。

○東京書籍の教科書についての報告で宗谷管内に暮らす児童の学習意欲を高める工夫がなされているとあったが具体的にどういった工夫か。

→道内のほかの地域の事例を載せている。

○上下巻に分かれている教科書と、一冊にまとめている教科書があるが、それについてはどう考えているか。

→教科書を持ち帰らない場合もあるので、持ち運びなどそんなに影響はないと思う。

○東京書籍では、本来モノクロの写真をカラー化して掲載しているが、加工するのとしないのではどちらが子どもに伝わりやすいか。

→実際にカラーに慣れ親しんでいる時代なので、カラー化している方が色覚的に訴える部分は強くなると思う。

(3) 協議

○どの教科書も内容に大きな差はないと思う。

○前回、教育出版から東京書籍に変更しているが、教師が指導に難しさを感じたり、違和感を感じている印象はない。

(4) 採択

○掲載する写真に工夫があり、児童の学習意欲を高めるつくりになっている。

○前回変更している経過もあるので、継続して使用し授業改善に向けて研究などを進めてもらうのが望ましい。

このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

『地図』

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

(2) 質疑

○東京書籍の文字が見づらいような印象があったがどうか。

→それぞれの資料には見やすいもの見づらいもの、どういうものに繋がっていくのか差はあるが、どの出版社も十分配慮された資料が活用されているので使いづらさについては大きな差がないと感じている。

○ドローンの映像が見られる教科書はどれか。

→東京書籍。

(3) 協議

○東京書籍の高校で使う地図は廃盤が決まっていて、もしかしたら今後、小中学校へ影響してくる不安もある。

○帝国書院は北海道のページが4ページで構成されている。関東地方の地図も見やすく、小学生に優しいと感じた。

○帝国書院はアイヌ語の地名が記載されている。

○中学校は北海道全地区が帝国書院を採択している。小学校で東京書籍を採択しているのは第8地区のみ。私立、国立もすべて帝国書院。

(4) 採択

○北海道についての記述が多く、児童が興味・関心を抱くような工夫がされている。

○QRコードでクイズがあり、子どもたちが遊びながら学べるコンテンツが沢山ある。

このような理由から「帝国書院」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《保健体育》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○メディアに関する健康被害に触れている教科書はあったか。

→スマート等の使い方を明記しているのが大日本図書。生活リズムに関わり、スマート等の使い方を記述しているのが大修館、光文書院、東京書籍、学研。インターネット、ゲーム依存症として記述しているのが光文書院。

○心の健康を特徴的に取り扱っている教科書はあるか。

→どの教科書も網羅しているので差はない。

（3）協議

○東京書籍が前回と比べてQRコードが増えていて、その先のリンクに画像が揃っているので学びやすいと感じた。

○中学校では東京書籍を採択しているので、関連性を踏まえてもいいのではないか。

（4）採択

○現在使用しているものにさらにQRコードが追加され、より充実したつくりになっている。

○学習内容と関連のある資料を掲載したりし、児童の学習意欲を高める工夫がされている。

このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《音楽》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○2社の中で特に印象に残った部分はどこか。

→教育出版のリコーダーのまなびリンク。他には、教科書に掲載されている大きな写真がとても綺麗で、北海道ではなかなか見ることができない景色であり、授業でも子どもたちが喜ぶと思う。

○今回の2社の教科書は1年生から6年生までの系統だったつくりになっているか。

採択する教科書を変える場合に影響が出るかどうか。

→どちらの教科書も系統立て、積み上げていくつくりになっているので遜色ないと思う。

○授業中に鑑賞した音楽を、教科書にあるQRコードでどこにいても聴ける仕様になっているか。

→家などで聞けるものなのかは確認していません。

（3）協議

○教育出版は教科書に掲載している写真が充実している。

○リコーダーを教えやすい教科書がいいのではないか。

○学校現場でも現在使用している教科書は教えやすいという評判を聞く。

（4）採択

○自然・四季の美しい大型写真を掲載し、創造力や感性を生かした学びができるよう工夫されている。

○リコーダーの導入では、「まなびリンク」を活用し、個別最適な学びができるよう工夫されている。

このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《理科》

(1) 報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

(2) 質疑

○各社のQRコードで特徴的なものはあるか。

→QRコードが比較的少なかったのが学校図書。どの教科書もそれぞれの場面に応じたQRコードが記載されている。内容については振り返りや、実験器具の使い方等子どもたちが自分で勉強できるような工夫がなされている。

○教科書のサイズが大きくなり、文字が見やすい等メリットもたくさんあると思うが、その反面机が狭くなる等いろいろデメリットもあると思うがどう思うか。

→ランドセルとともにサイズが変わってきている。教材に合わせてサイズが変わっていると思っている。低学年は大きい教科書の方が見やすいと思う。中高学年は小さくてもいいと思う。使っていくうちにそのサイズが標準化すると思う。

○理科の実験を多く取り扱っている出版社はあるか。

→内容、量ともに大きな差はないと思う。

○今回の教科書では巻頭のページに前学年で学んだことを記載している部分があったがそれについての評価はどうか。

→どの教科もそうだが、これまでの積み重ねはとても大事だと思う。経験がある先生や得意な先生は、授業の導入で前の学年の振り返りなどを自ら話せるが、苦手な先生にとってはこここの部分は有効だし、ありがたいと思う。

○学年によってはページ数が大きく違う出版社があるが、内容的には大きな差がないということでおろしいか。

→内容に大きな差はない。ページ数の差は発展学習や資料だと思う。

(3) 協議

○各出版社に大きな差はない。

○あえて変えずに、現在使用しているものを継続して採択してもいいのではないか。

○教科書のサイズを考慮した採択がいいのではないか。

(4) 採択

○実験器具の使い方について、巻末に分かりやすくまとめられている。

○児童が調べてみたくなるような現象や、2つの異なる事象を効果的に掲示し、児童が意欲、関心を持てるような工夫がされている。

このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）

《図画工作》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

特になし。

（3）協議

○造形遊びでは使う素材が身近なものが多いのが開隆堂。だが、のこぎりの使い方は開隆堂には記載がない。

○日本文教出版は中学校の美術を意識した構成になっている。学校間の接続も考慮して採択してもいいのでは。

○道内で開隆堂を使用している地区は少数派。

（4）採択

○各種道具の使い方についての記載が丁寧であり、児童が興味を持つような工夫がされている。

○普段あまり使わない素材が掲載されており、児童の創造力を高める工夫がされている。このような理由から「日本文教出版」とする。（全会一致）

《道徳》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○いじめ関連の記述をしっかりとしている出版者はあったか。

→すべての出版社でいじめをユニット化しており、連続して学習できるような工夫がそれぞれであるので出版社によって差はない。

○考え方議論する道徳となっているが、子どもが疑問点を感じるような教科書はあったか。

→教材の後に、場面発問とテーマ発問の例が載っている。これは今までの教科書にはなく、指導する教師側への配慮があると感じた。教師が理解し、効果的に示すことができればどの教科書も大きな差はないと思う。

○情報モラルについて特徴的なものがあったか。

→ほとんどの教科書がSNSを使つたいじめ問題とリンクしている。

○LGBTQ、ダイバーシティの関係について調査委員から意見はあったか。

→性的マイノリティの面ではなく、人々の多様性について記載している場合が多かったと思う。

（3）協議

○いじめについての記載は各社ともあり、それぞれに工夫を感じた。

○人々の多様性についての記載は、東京書籍と学研が手厚く記載があった。

（4）採択

○SDGsやLGBTQなど、今日的な課題について学びを深められるような工夫がされている。

○いじめ防止に直接関わるユニットがあり、繰り返しいじめ防止について考えることができる。

このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《家庭科》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○SDGsのことについて、東京書籍では36ページ目、開隆堂では131ページ後半に記載されているが、教科書のページの構成について意見はあったか。

→特になかったが、開隆堂はある程度の学習が終わった後に触れるということで後ろのほうに記載しているのではないかと思う。

○QRコードがほぼすべてのページに記載されているが、学校以外での使用が想定される部分はあるか。

→料理をする場面や、ミシンを使う場面であると思う。しかし、家庭に通信環境があることが前提なので、全児童が活用できる訳ではないと思う。

（3）協議

○開隆堂の教科書のサイズがA4版に変わっている。

○身の回りの整理整頓について今の子どもたちは苦手な子が多いので、そこを配慮した教科書を採択してもいいのでは。

（4）採択

○教科書の下段部分に豆知識のようなものが記載されていて、児童に関心を持たせたり、実際に生活で参考になるような工夫がされている。

○学校以外でも使えるように工夫がされていたり、児童が興味をもち、活動できるような工夫がされている。

このような理由から「開隆堂」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《生活》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○自然分野で教科書に記載はあるが、宗谷管内では扱えない素材が出てきたりすると思う。比較的宗谷でも使いやすい素材が多い教科書があったか。

→北海道関連の街や自然、行事、地域に愛着を持てるような交流例などが具体的に紹介されているので、各社とも工夫はあると思う。

○QRコードが充実している出版社はあったか。

→どこの出版社も記載があるので大きな差はないと思うが、特徴的なものとして、実物大の植物を掲載しているのが東京書籍。

（3）協議

○教科書で使用する素材が身近にない場合がある。どの素材を使えばいいのか教師がわかりにくい教科書は難しいのでは。

○光村図書の教科書は絵本作家のヨシタケシンスケ氏が描いたイラストや言葉が掲載されていて教師が教えやすいと感じた。巻末の図鑑も使いやすいと思う。

○1・2年生のみの教科であり中学校との関連も考えなくていいので、採択替えしても教員側に問題ないのでは。

（4）採択

○作家のイラストは子どもにも馴染みがあり、興味、関心を持たせる工夫がある。

○読みやすさを強調したユニバーサルデザイン書体の使用や、色使いにも配慮されている。

このような理由から「光村図書」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《外国語》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○各社ともユニット構成が工夫されていると思う。東京書籍の教科書が前回と比べ、書くことがかなり増えていると思うがどう思うか。

→書くことは中学校で求められている技量であるが、なかなか基礎が定着しないまま中学校へ進学する場合も少なくはないので、分量が増えてもいいと考えている。

（3）協議

○町のALTに見てもらったところ、書く練習がしっかりとできるのと、教科書のつくりがシンプルであるというところで東京書籍の教科書が気に入ったと話していた。

○現在使用している東京書籍の教科書は書く部分が多くて、小学生が使うにはハードルが高いような気がする。

○児童が英語嫌いにならないような教科書がいいのではないか。

○話すことも含めて身につくような教科書がいいのではないか。

（4）採択

○中学校で求められている技量を小学校段階で身に付けることができるよう努めたりになっており、技能の向上が期待できる。

○社会の多様性を踏まえたイラストや表現活動に配慮されている。

このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）

《算数》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○6学年の教科書は多くの出版社が図形から始まっているが、教育出版だけが違う。どのような意図があると思うか。

→子どもたちが取り組みやすい分野である「数と計算」から始める場合と、「図形」から始める場合の2パターンあると思うが、出版社の考え方であるし、系統立てた取組ができれば使いやすさに大きな差はないと思う。

○現行の学習指導要領では、主体的対話的で深い学びが重要と捉えています。学習指導要領解説の改訂ポイント、算数的活動は数学的活動とするに対して、項目に数学的活動と入っているのは、教育出版と日本文教出版の2社だがそこを意識しているか。

→従来の算数的活動は数学的活動に一本化されている。文言の有無にかかわらず、どの教科書も中身としては十分考慮して構成されていると思う。

○算数は学年が上がるにつれて、苦手意識を持つ子が増えしていくと思うが、そのような子に対して、これまで学習したことの振り返りを特に意識して掲載している教科書があつたら教えてほしい。

→新しい単元に入るとき、これまでの関連単元の学習内容を振り返ることができるようどの教科書も配慮がされている。さらに単元の末でも大事なことを振り返るようにしているのでどの教科書も差はない。

○躊躇が多い単元だと思うが、つまずきそうな箇所がよりわかりやすいように工夫されている教科書があれば教えてほしい。

→重要な単元については2つに分け、時期をずらして、定着を図る構成をしている教科書はある。

（3）協議

○全道的なシェアでは東京書籍と教育出版が多い。

○前回採択時に全国学力学習状況調査の問題が東京書籍の問題が多いこともあるって採択した経緯もある。現に徐々に、全国平均に近づいている実績もある。

○前回採択替えを行っており、今回変えるとなると現場の先生方にも授業準備含め負担がかかると思うので、全国学力学習状況調査の実績もあるので、継続して使用してもいいのではないか。

（4）採択

○全国学力学習状況調査の結果を考慮し、より全国レベルに近づけるような教科書とする。

○習熟に時間を要する内容は2つの単元に分けて取り扱うなど、児童の発達段階、単元相互の関連に応じて学習が積み上げられるように工夫されている。

このような理由から「東京書籍」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《国語》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○これまで上下巻に分かれていたが、一冊にまとまっている出版社があるが、重さについての意見やどちらが使いやすい等意見はあったか。

→重さはポイントになると思う。いつでも振り返りができるのは一冊の方だと思う。

ただ、上下巻に分かれている教科書も、上巻に下巻の目次が記載されていることや、下巻にも上巻の目次が掲載されているので、振り返る必要がある時には確認ができるようになっている。それぞれ、デメリットをなくそうという工夫はされていると思う。

○現在、小学校と中学校で採択されている教科書の出版社に違いがあるが、小中で使用する教科書の出版社を合わせた方がいいという意見は出たか。

→調査委員会では大きく議論にはならなかったが、子どもたちにとっては、小学校から中学校に進学する際に一回切れるので困ることはないと思う。ただ、どの出版社も挿絵や文字数に特徴、個性があり、このタイミングで採択替えをすることは適切なのかなという心配はある。

○採択替えをするデメリットの方が、メリットよりも大きいので、小学校にとっては替えない方が混乱も少なく、教師も教えやすいということか。

→中学校に合わせるメリットがさほどないのではないかと思う。内容や実態に沿った教科書の採択が大事だと思う。

（3）協議

○小学校、中学校で使用する教科書の出版社が違うのは若干気になる。

○教育出版の方が内容は易しい。光村図書は本が好きな子にはすごくいい教科書だが、字を読むことが苦手な子には少し厳しい印象がある。

○例えば、4年生まで教育出版で勉強して、5年生からいきなり光村図書に変わることになると子どもも先生もハードルが高い気がする。

○小学校で使用する教科書を中学校に合わせて採択替えするのは、今の子どもの実態を踏まえても好ましくないと思う。同じ出版社にすることが必ずしもいい事ではないが、委員にしっかり調査をしてもらい、中学校の教科書も決めていきたい。

（4）採択

○読書に親しむ習慣や態度を育むため、読書単元を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

○児童への負担を考慮し、学びに向かう態度を育める教科書とする。

このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）

《書写》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

○前回は国語との関連性を重視して、同じ出版社にしたが、これについて意見はあったか。

→どの教科書も工夫されているので関連性は重視しなくてもいいと思う。

（3）協議

○国語との関連性を考慮して採択することが望ましいのではないか。

（4）採択

○運筆を音声やキャラクターの動作で表すことで体感的に学習を進めることができる。

○国語と書写の内容について関連があることから、同じ出版社とする。

このような理由から「教育出版」とする。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《特別支援》

（1）報告

調査研究の経過及び概要について（調査報告書のとおり）

（2）質疑

特になし。

（3）協議

○新たに掲載された9点については、どれも児童が興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮されており、すべてを採択すべきである。

○児童の実態・特性に応じた指導をするため、選択肢は多い方が望ましい。

（4）採択

今回新たに調査・研究をした9点全てを採択する。（全会一致）

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

5 採択にかかる諸事項

《会長》

事務局より採択にかかる諸事項の説明をお願いします。

《事務局》

（1）各市町村教育委員会における採択手続きについて

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条」で「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」と定められていることから、令和6年度から使用する小学校用教科用図書については、今回の協議会での決定に基づき、各市町村教育委員会において、同一の教科書を採択する手続きを進めていただきます。

また、令和6年度に使用する中学校用教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされており、各教育委員会においては、令和5年度と同一の教科用図書を使用する採択を行ってください。

採択期限は8月31日までとなっております。

（2）学校教育法附則第9条の規定に基づく採択手続きについて

「学校教育法附則第9条」により、特別支援学級の児童・生徒については、別の教科用図書を使用することができることとなっております。

さきほどの新たに加えられた9冊の一般図書の調査・研究報告を踏まえ、北海道教育委員会発行の「令和6年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料」に掲載されている図書全てを採択する手続きを進めていただくこととなります。

（3）情報公開について

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の一部を改正する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行規則の一部を改正する省令」により、各市町村教育委員会において、採択後に公表すべき事項が定められました。

つきましては、各市町村において、適切に情報公開していただきますよう、お願いいたします。

なお、公表すべき事項につきましては、事務局において、協議会の決定結果及び決定理由、協議会委員名簿、調査委員名簿、調査報告書、協議会議事録をホームページにて公表いたします。

各町村においては、自治体のホームページ内に稚内市ホームページのリンクを作成していただきます。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

請求により公表する事項につきましては、これまで同様、事務局の稚内市で公表しますので、各教育委員会へ請求がありましたら請求者にその旨伝えていただくとともに、事務局までご連絡ください。

公開の時期については、9月1日を予定しております。

令和5年度 第3回第8地区教科用図書採択教育委員会協議会 議事録
開催日 令和5年8月21日（月）
場 所 稚内市生涯学習総合支援センター

《会長》

事務局からの説明に質問等はないか。

《委員》

なし（了承）

閉会

令和5年8月24日

議事録署名人

御承認也

